

人と自然をつなぐ懸け橋へ～東山動植物園再生プラン～



第37回 東山再生フォーラム

テーマ：どうする？東山湿地

日時：令和5年7月1日(土)

午後 1:00～4:00

場所：東山動植物園 動物会館

講演『東山地区の湿地・水辺を再生して地域に活かそう』

愛知学院大学教養部 准教授 富田 啓 介 氏

パネルディスカッション『どうする？東山湿地』

パネリスト 名古屋産業大学 准教授 長谷川 泰 洋 氏

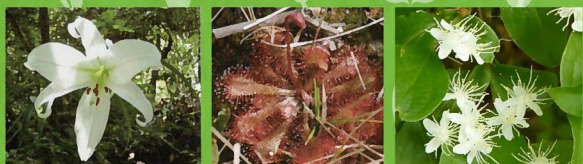
豊橋市文化財センター 学芸員 賀 元 洋 氏

名古屋市東山動植物園 飼育員 藤 谷 武 史

コーディネーター 愛知学院大学教養部 准教授 富田 啓 介 氏

湿地再生プラン概要と湿地サポーター募集

NPO 法人なごや東山の森づくりの会 会長 滝 川 正 子 氏



参加申込 令和5年6月13日(火) 午前9時より開始し、先着順で定員に達するまで受付けます。

定員 100名

申込方法 下記の電話又はメールのいずれかで、①住所②氏名③電話番号をお示しの上お申込み下さい。

電話：052-782-2111 メール：higashiyama-k@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

申込締切 令和5年6月29日(木) 17時まで。但し定員に達した時点で締切ります。

お問合せ 名古屋市緑政土木局東山総合公園再生整備課

〒464-0804 名古屋市千種区東山元町 3-70 電話：052-782-2111 FAX：052-782-2140

※聴講券は発券いたしません。

※定員超過により参加申し込みを受けられない場合は連絡いたします。

※参加無料(高校生以上は別途入園料が必要です。)

会場案内／東山動植物園 動物会館
地下鉄東山線「東山公園駅」下車
3番出口より徒歩3分




地下鉄
東山公園駅
3番出口



第37回 東山再生フォーラム

テーマ「どうする？東山湿地」

本市では、市民の皆様により昭和12年の開園以来親しまれてきた東山動植物園を「もっと身近に、もっと楽しく、自然とふれあえる場」にしていくために「東山動植物園の再生」を進めています。この再生を進めていくにあたり、市民の皆様とともに考えていくため、「東山再生フォーラム」を開催しています。

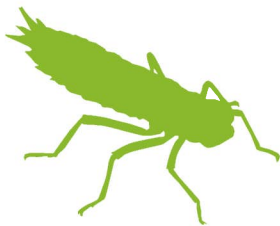
	プログラム	13:00 開 会 (12:30 受付開始)	
		13:05 講 演	『東山地区の湿地・水辺を再生して地域に活かそう』 愛知学院大学 教養部 准教授 富田 啓介 氏
		13:50 休 憩 (10分)	
		14:00 パネルディスカッション『どうする？東山湿地』	
		パネリスト：名古屋産業大学 准教授 長谷川 泰洋 氏 豊橋市文化財センター 学芸員 贄 元洋 氏 名古屋市東山動植物園 飼育員 藤谷 武史 氏	
		コーディネーター：愛知学院大学 教養部 准教授 富田 啓介 氏	
	話題提供①「東山の森に棲む新種オワリサンショウウオ」 名古屋市東山動植物園 飼育員 藤谷 武史 氏		
	話題提供②「伐って育てる雑木林と湿地再生」 名古屋産業大学 准教授 長谷川 泰洋 氏		
	話題提供③「葦毛湿原の再生事業」 豊橋市文化財センター 学芸員 贄 元洋 氏		
	15:50 さ 案 内	湿地再生プラン概要と湿地サポーター募集 NPO 法人なごや東山の森づくりの会 会長 滝川 正子 氏	
	16:00 閉 会		

講演者・パネルディスカッション パネリスト



富田 啓介 (とみた けいすけ)
愛知学院大学教養部 准教授

1980年愛知県生まれ。2009年、名古屋大学大学院環境学研究科修了。博士(地理学)。名古屋大学大学院環境学研究科研究員、法政大学文学部助教を経て、2016年より愛知学院大学教養部講師、2020年より同准教授。専門は自然地理学、地生態学。主な著書に『里山の「人の気配」を追って』(花伝社)、『はじめて地理学』(ベレ出版)など。



長谷川 泰洋 (はせがわ やすひろ)
名古屋産業大学 准教授
なごビオ(なごや生物多様性保全活動協議会) 会長

愛知県生まれ。博士(芸術工学)。森林インストラクター。身近な自然の保全で豊かな社会を創造することをテーマに、主に東海地方の社叢や里山を対象に、生物多様性や生態系サービスの評価やその保全手法についての研究を手がける。なごビオ(なごや生物多様性保全活動協議会)では、里山林・社寺林部会の部会長で、保全団体との協働による植物相調査や希少植物が生育する生態系の調査及び保全の実践に取り組んでいる。著書(共著)に「空間コードから共創する中川運河」(2016)、「鎮守の森の過去・現在・未来 そこが知りたい社叢学」(2023)がある。



贄 元洋 (にえ もとひろ)
豊橋市文化財センター 学芸員

1958年生まれ豊橋市出身。愛知県立豊丘高校卒業、富山大学人文学部(考古学)卒業、富山大学大学院修士課程(考古学)修了、専門は日本考古学、1984年豊橋市教育委員会美術博物館長職、以来、豊橋市内の遺跡の発掘調査、有形・無形文化財、天然記念物等の文化財保護の仕事が続け、現在は国指定天然記念物「葦毛湿原」、愛知県指定天然記念物「豊橋のかがバ」(イモヅク自生地)の植生回復作業等の保護業務を担当している。現在は会計年度任用職員として豊橋市文化財センターに学芸員として勤務し、また、愛知大学の非常勤講師として考古学の講義を担当している。



参加申し込みでいただきました個人情報(氏名、E-mail アドレス、電話番号など)は、当フォーラムの運営のために必要な範囲内で利用させていただきます。



東山動植物園
Higashiyama
ZOO & BOTANICAL
GARDENS



©Nagoya City このチラシは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。